

小学生高学年の部



きれいな水をいつまでも

石巻市立石巻小学校 6年 高橋 星良

私の祖父母の家は、お父さんの中学校時代につくられた家で、とても広くて私は大好きです。

そんな私の大好きな祖父母の家を、祖父はほとんど1人で浴室をリフォームしました。私の祖父は大工さんで、先日初めてその工事を見た時は、真けんに仕事をする祖父のすがたがとてもカッコ良かったです。

そして、2・3週間後、久しぶりに家族で祖父母の家に行きました。すると、新しい浴室がまるで高級ホテルのようにピカピカでした。私は、1番目にお風呂に入らせてもらおうと、足を思いっきりばして入る事ができて、とても気持ち良かったです。リフォームしていた2週間は、自宅のお風呂に入れず、その間、体をふいたり少し遠くの銭湯に入りに行っていたそうです。毎日自分の都合に合わせて、好きな時間に当たり前のように入っていたお風呂に久しぶりに入れた時は、とてもありがたかったと言っていました。

東日本大震災の時も、お風呂に入ることができず、大変だったそうです。水道から水が出ないため、水を飲むのにもひと苦労したとお母さんが言っていました。水道から、当たり前のように水が出るのはとてもありがたいことだと改めて実感しました。

いつもきれいに出てくる水道水は、24時間清潔です。石巻市では、旧北上川から取水塔を通して、川の水を取水場に取り込みます。そして、須江山浄水場で9行程のシステムを通り、配水池に貯められます。清潔な水はたくさんの時間と手間がかけられています。川の水が安心・安全な水になり市民の水道水として送られているのです。そして、朝は歯みがき、洗顔、手洗い、うがい、夜にはお風呂、トイレ、ごはん作り、その他にもさまざまなことに使われています。

考えてみると、水道水がコロナ対策に役立っています。今までより、時間をかけた手洗いや、家で、何度もするうがいには水は欠かせません。水道水のおかげで安全・安心な生活ができているのだと思いました。

私達の生活には水が欠かせないものなのです。安心、安全な生活を送るためには、きれいな水が必要です。道徳の学習で、豊かな森がきれいな水をつくることを学びました。白神山地では、きれいな水をつくるために、森をきれいにしているそうです。また、地元の人たちは、ブナ林をこのままの形で次世代に残していきたいと考え、世界遺産に登録してもらいました。豊かな自然を守るために、人が入ってよいところと入ってはいけないところを区別したり、大人も子どももごみ拾いをしたり、ブナの植林に力を入れたりしていることを知りました。地域の人たちみんなで努力をすることで、森が守られ、川が守られ、きれいな水道水がつけられ、安全、安心な生活が守られているのだと思いました。

私は、石巻の自然をきれいなまま次世代に残していこうという気持ちをもつことが、きれいで、おいしくて安心・安全な水道水をいつまでも使うことができることにつながるのだらうと思いました。人々が今の自然を残していきたいという気持ちをもつと自分の子どもや孫などの子孫まで、きれいな水道水を使った生活を送ることができるなんてとても素晴らしいことだと思いました。

きれいな水のために、もっと自然を守るための活動を広めることが、大切なのではないのでしょうか。私はそのために、ゴミを捨てたり、山の植物をむやみにとったりしないようにしたいと思いました。また、森や川や、きれいで安心、安全な水をつくってくれる方々に感謝していきたいと思います。いつもきれいな水をつくってくれてありがとうございます。